

ニホンナシの発芽予測

2024年3月8日 南信農業試験場

<気象経過>

- ・2023年10月か～2月の気温は高低があったものの、平年より高く推移した。
- ・2023年10月～12月の日照時間は平年より多く、2024年1月～2月は平年より少なかった。
- ・2023年10月～2023年2月の降水量は平年並であったものの、2024年2月は低気圧や前線の影響を受け、平年より多かった。

<生育状況>

2023年10月～2024年1月は気温が高く推移しており、自発休眠覚醒に有効な温度（7.2℃以下）に遭遇する時間が少なかった。生育予測モデルにおける本年の自発休眠から他発休眠への切り替わりは、幸水で1/26、南水で1/27、豊水で1/30と平年に比べ5日～6日遅いと推測された。自発休眠覚醒後の2月上旬の気温は平年並から低い日が続いたため生育は遅れていたが、2月中旬以降に気温が高い日が続いたことから、生育は平年並程度に前進していると考えられる。

<生育予測>

品種ごとの発芽日について、今後の気温が平年並み、+1℃、+2℃、+3℃と仮定した場合を予測した（表）。

3月8日現在、今後の気温が平年並みで推移した場合、発芽は平年並みから2日早いと推測される。

3月7日発表の1か月予報によると、向こう1か月の気温は平年並か高いと予測されている。今後の気温が平年よりも2℃以上高く推移した場合、生育は更に早く進み、発芽は予測日より前進する可能性がある。ニホンナシの生育は今後の気象により大きく変化し、発芽期に近づくほどその影響を強く受ける。今後の気象の推移や、実際の生育に注意する。

表 令和6年3月8日時点での発芽予測日

今後の気温	発芽予測日(平年値との差)			
	幸水	豊水	南水	二十世紀
平年並み	4/1 (-2)	3/29 (-2)	4/2 (0)	3/31 (-1)
平年 +1℃	3/31 (-3)	3/26 (-5)	3/31 (-2)	3/29 (-3)
平年 +2℃	3/29 (-5)	3/24 (-7)	3/28 (-5)	3/26 (-6)
平年 +3℃	3/26 (-8)	3/22 (-9)	3/26 (-7)	3/24 (-8)
平年値	4/3	3/31	4/2	4/1
令和5年	3/28	3/24	3/25	3/25

予測には発育速度モデル(DVR法)を利用している。予測は南信農業試験場内の調査樹のデータをもとにした。

気象データはアメダス飯田の特別気温を用いた。

予測日の()内は平年との差を表す【-は平年より早く、+は平年より遅い】。

「平年値」は場内の平成13～令和2年(2001～2020年)の発芽日の平均を表す。